

川島つゆ著作目録

2

—敗戦後から終焉時まで—

古庄ゆき子編

大内初夫教授、本学国文学科卒業生
で東京都存在の高木久代さんに絶大
な御指導と御協力をいただいた。

凡例

○ 随筆類

◇ 短歌、俳句、詩類

△ 評論、研究論文

◎ 単行本

□ 共著、共述

○ 以上の分類は便宜上施したものである。川島つゆ女史の著作は、随筆と小説、随筆と評論、評論と研究論文の区別の判然としないものが多い。むしろこれが一つの大きな特徴となつてゐることを付記する。

○ 「私の処女作」（川島女史の手に

よる書き入れ）の出た大正三年（一九一四年）以降敗戦の年（昭和二十一年、一九四五年）までの分は、「川島つゆ著作目録1」として梅光女学院大学国語国文学会誌「国文学研究」第9号に掲載の予定である。なお目録1・2は、一周忌記念に作成した目録（自家製版）に、改訂、増補を施したものであるが、いまだ決定版とはいえない。大方の御教示をお願ひする。

○ 本目録作成に当って、鹿児島大学

戦後期

昭和二十一年（五十四才）

9月◎△一茶

春秋社

11月△一茶「俳句の国」10・11

月号

（第一卷第十一号）

△新資料一茶連句「科野」統一

茶 特輯号

(第一卷第十一号、通十一号)

昭和二十二年(五十五才)

1月◇独吟北武蔵「俳句研究」

新年号

(第四卷第一号)

1月△一茶と砂糖「俳句の国」

新年号

(第二卷第一号)

3月◎△芭蕉七部集俳句鑑賞(再

版)南北書園

◎※一茶おじさん 小学館

(小国民シリーズ)

4月△長月庵若翁と一茶「科野」

4月号

(第二卷第四号、通十六号)

※加賀の千代女「少女クラブ」

4月号

(第二十五卷第四号)

6月△花嬌女と砂明考「科野」作

品特輯号

(第二卷第六号、通十八号)

△洗ふ髪(秀句鑑賞)「最短

詩型」創刊号

△七部集のよみ方「俳句の国」

創刊号

7月△古句鑑賞1「はまなす」

7月号

(第二卷第七号、通十六号)

8月△古句鑑賞2「はまなす」

8月号

(第二卷第八号通十七号)

※熊谷に泊った一茶おじさん

「青空」7・8月合併号

(通第八号)

9月△古句鑑賞3「はまなす」

9月号

(第二卷第九号、通十八号)

10月△古句鑑賞4「はまなす」

10月号

(第二卷第十号、通十九号)

11月△蕪村の芸術「俳句の門」

第5号

(第一卷第五号)

△古句鑑賞5「はまなす」

11月号

(第二卷第十一号、通二十号)

△秋の句(秀句鑑賞)「最短

詩型」9・10月号

(第一卷第三号)

12月△古句鑑賞6「はまなす」

12月号

(第二卷第十二号通第二十一

号)

昭和二十三年(五十六才)

1月△古句鑑賞7「はまなす」

1月号

(第三卷第一号、通二十二号)

2月△古句鑑賞8「はまなす」

2月号

(第三卷第二号、通二十三号)

3月△古句鑑賞9「はまなす」

3月号

(第三卷第三号、通二十四号)

4月△古句鑑賞10「はまなす」

4月号

(第三卷第四号、通二十五号)

5月◇土器(俳句十二句)「俳句

の門」5月号

(第二卷第四号、通十号)

5月△古句鑑賞11「はまなす」

5月号

(第三卷第五号、通二十六号)

○「御苦勞さん」「くまがや」

第8号

6月△古句鑑賞12「はまなす」

6月号

(第二卷第六号、通二十七号)

7月○盆になって思ひ出すことど

も「俳句の門」第12号

(第二卷第七号、通十二号)

○「太夫桜」「くまがや」

第12号

8月◇(俳句六句、題なし)「俳

句の門」雑詠選者作品欄)

「俳句の門」8・9月号

9月※長柄の春風||蕪村と少女||

「少女クラブ」

(第二十六卷第九号)

△雀子の吟「飛蝗」9月号

(第十六号)

11月△一茶と菊女「科野」

一茶特輯号

(第三卷第十一号、通三十五号)

12月△一茶と菊女(前承)12月号

(第三卷第十二号、通三十六号)

昭和二十四年(五十七才)

1月△選後に(俳句添削欄)

「俳句の門」1月号

(第三卷第一号、通十七号)

3月※童話ねむりの森俳詠

△(質疑応答欄、題なし)

「俳句の門」2・3月号

(第三卷第三号、通十八号)

4月△(質疑応答欄、題なし)

「俳句の門」4月号

(第三卷第四号、通十九号)

6月△(批評添削欄2)

「俳句の門」4月号

(第三卷第四号、通十九号)

8月△一茶の秀句「俳句の門」

8月号

(第三卷第八号、通二十三号)

11月◇灯の女(俳句五句)「海流」

10・11月号(第14号)

昭和二十五年(五十八才)

2月△一茶と草津俳人「科野」

2月号

(第五卷第二号、通五十号)

◎加賀の千代女 童話春秋社

○物学ぶ顔「海流」

1・2月号

(第四卷1・2月号)

、通十五号)

4月△連句「俳句の門」4月号

(第四卷第三号、通二十九号)

◇添削実例 「俳句の門」

4月号

5月◇添削実例 「俳句の門」

5月号

○(第四卷第五号、通三十号)

7月◇むさしぶり(俳句五句)

「海流」通十六号

△三韓人板行の意味「科野」

7月号

(第五卷第七号、通五十号)

9月○千代女の―俳句について―

「少女クラブ」9月号

(第二十八卷第九号)

△漂泊者路通「はまなす」

9月号

(第五卷第九号、通五十四号)

10月○夏梅 「朝日俳句」第4号

11月△一茶の寛政旅行

「科野」一茶特輯号

(第五卷第十一号、通五十九号)

12月△一茶の辞世について

「科野」統一茶特輯号

(第五卷第十二号、通六十号)

○一茶の俳句 『句作の道』

第3卷

「古俳句篇」目黒書店

昭和二十六年(五十九才)

2月△一茶の寛政旅行補遺

「科野」2月号

(第六卷第二号、通六十二号)

4月※おちくば物語

「女学生の友」4月号

(第二卷第一号)

○秋色桜 「少女クラブ」

4月特大号

(第二十九卷第五号)

5月 絵のような俳句―与謝蕪村

のこと

「女学生の友」5月号

(第一卷第十二)

6月□◇(短歌九首)歌集『海原』

△ゆかた 「大由布」

8・9月号

△一茶の足あと「中学教育技

術」8月号

(第三卷第五号)

9月△成美評一茶句稿「科野」

一茶特輯号

(第六卷第九号通六十九号)

10月◇(俳句二句)「清明」

創刊号

◇汝が乳(俳句五句)

「新暦」第2号

12月△最近の一茶研究「芭蕉研究」

5号

昭和二十七年(六十才)

1月△千代女の一句「学苑」

1月号

(第十四卷第一号、通百三十三

号)

◇曼珠河沙「新暦」1月号

(第二卷第一号)

○季節の推移「月明」紅梅号

(第十五卷第一号)

2月△再び雀子の吟について

「信濃教育」第七八二号

3月◇季節の混線「Le Bois」

第2号

○或る日の藤村「Le Bois」

第2号

△なんでもない難句「濱」

3月号

5月○ロダンの言葉「かまど」

5号

6月※芭蕉さんの旅「少女クラブ」

6月号(第三十卷第六号)

7月△綺石、一茶、風朗など

「東火」7月号

(通二百七十四号)

△一茶と文暁「科野」

一茶特輯号

(第七卷第七号、通七十九号)

△俳諧芭蕉談についての一考

察「新暦」7月号

8月◎松尾芭蕉 学芸図書出版社

9月△綺石と一茶「東火」9月号

(第二十七卷第九号、通二百七十六号)

◇(短歌三首)歌集『森』

12月△松本教授の劳作「嵯峨日記

門下の俳句作品」を讀みて

「東火」12月号

(第二十九卷第十二号、通三百三十三号)

三三三

昭和二十八年(六十一才)

2月△園女「学苑」2月号

(通百四十四号)

◎△加賀千代女「同和春秋社」

△一茶と成美「別府女子大学

紀要」三輯

3月※園女の俳句物語

「少女クラブ」3月号

(通三十一卷第四号)

6月○卯の花「春燈」6月号

(第八卷第六号)

8月△美津女「学苑」8月号

(通五十一号)

△一茶研究の実際——一茶と古

人 第三回信濃講座テキス

ト「小林一茶」

11月◇木の芽 歌集「岬」

△芭蕉の丈、蕪村の足

「野の声」11月号

(通三百八号)

昭和二十九年(六十二才)

1月□△一茶連句研究(一)「科野」

1月号

(第九卷第一号、通九十七号)

3月□△一茶連句研究(二)「科野」

3月号

(第九卷第三号、通九十九号)

◇詩のよななもの「軌道」

4号

4月□△一茶連句研究(三)「科野」

4月号

(第九卷第四号、通百号)

○純夫妻の写真「科野」

4月号

5月□△一茶連句研究(四)「科野」

5月号

(第九卷第五号、通百一号)

△一茶はひねくれ者?

「解釈と鑑賞」5月号

(第十九卷第五号、通二百十六

号)

◎△新注おらが春 明治書院

6月□△一茶連句研究(五)「科野」

6月号

(第九卷第十六号、通百二号)

○別府だより「新暦」6月号

(通十三号)

△菊舎尼 「連歌俳諧研究」

7・8合併号

7月□△一茶連句研究(六)「科野」

7月号

(第九卷第七号、通百三号)

8月□△一茶連句研究(七)「科野」

8月号

(第九卷第八号、通百四号)

□△春深み 歌集『しはつ』

9月□△一茶連句研究(六)「科野」

9月号

(第九卷第九号、通百五号)

10月□△一茶連句研究(九)「科野」

10月号

(第九卷第十号、通百六号)

11月□△一茶連句研究(十)「科野」

11月号

(第九卷第十一号、通百七号)

昭和三十年(六十三才)

1月 「成美」 「解釈と鑑賞」

1月特集増大号

(第二十卷第一号、通二百二十

四号)

△「千代女」 「解釈と鑑賞」

1月特集増大号

5月○連句随想「解釈と鑑賞」

5月号

(第二十卷第五号、通二百二十

十八号)

◎△おらが春新解 明治書院

□△一茶連句研究(一)「科野」

5月号

(第十卷第一号、通百十三号)

6月△猿蓑の女流「学苑」

6月号

(第百七十八号)

△せめて柏原の駄名だけでも

「柏原時報」6月28日発行

号外

8月△蕪村の見た夏「教育技術中

学国語」8月号

(第三卷第五号)

10月○秋に愛誦する 毎日新聞

10・26

11月□◇夏炉冬扇歌集「いづみ」

昭和三十一年(六十四才)

3月○最後の時間 「蘇門」卒業

記念特集号

5月◇むさし野を思う「月明」

麗日号

(第十九卷第三号)

9月△「おらが春」鑑賞「解釈と鑑賞」 9月号

(第二十一卷第九号、通二百四十四号)

△玉菊燈籠ノート「連歌俳諧研究」 第十二号

○櫛 「山河」 第二十五輯

昭和三十二年(六十五才)

1月△花屋日記と園女「科野」

1月号

(第十二卷第一号、通百三十三号)

3月△一茶の政治性「連歌俳諧研究」第十三号

4月◇一茶と蠛螂(S18作)

「新歴」 4月号

5月□◇石露日和 歌集『磯』

7月□△「千代尼」 「千代尼句集」

(他) 『俳諧大辞典』明治書院

8月○カンナの頬かぶり 大分合同新聞 8月15日(夕)

10月○エチケツト 大分合同新聞 10月1日(夕)

11月△□女坂 『日本古典鑑賞講座』蕪村・一茶

○ワンワンテーブル 大分合同新聞 11月5日(夕)

○二切れのもち 大分合同新聞 1・14(夕)

○まぶたの巨人 大分合同新聞 2・6(夕)

○富士 大分合同新聞 3・25(夕)

○団十郎となごや帯 大分合同新聞 3・25(夕)

○女流俳人 明治書院

○クリスマスカード 大分合同新聞 12・8(夕)

○隣人 大分合同新聞 5・27

○青葙 大分合同新聞 6・18

○指紋 大分合同新聞 7・10

○萎えたる靴 歌集『志高』

○この頃の新聞から「国語大分」 2号

昭和三十三年(六十六才)

1月○この頃の新聞から「国語大分」 2号

昭和三十三年(六十六才)

◎一茶さん（小学館の幼年文庫） 小学館

8月○砂丘の幻想―過ぎし日の東

海村―「ル・ボア」8号

○別府湾 「新歴」 納涼号

（通四十六号）

○大矢数 大分合同新聞8・

8（夕）

9月○物売り 大分合同新聞9・

9（夕）

10月○清斗翁の印象「獅子吼」

10月号

（第四十卷第十号、通二三八

輯）

11月○電気洗たく機とかつら

大分合同新聞11・15（夕）

12月○傷あとから舞たつ鳩

大分合同新聞12・27（夕）

昭和三十四年（六十七才）

2月○△女流俳人 『日本古典鑑

賞講座』19卷「俳句、俳論」

角川書店

○髪結司のゆるし文「科野」

2月号

（第十四卷、第二号、通百五十

八号）

4月□△千代尼『俳句講座3』

俳人伝」下 明治書院

△一茶集 『日本古典文学大

系』58巻

岩波書店

5月○魔よけ

大分合同新聞5・27（夕）

9月○三等客

大分合同新聞9・16（夕）

○クルミ割り

大分合同新聞9・29（夕）

○神神の笑い

△踏み切った彼女ら「俳句」

11月号―諸九尼と素日尼―

（第八卷第十一号）

大分合同新聞11・13（夕）

○金はかたき

大分合同新聞11・17（夕）

12月○酒を愛せよ

大分合同新聞12・5（夕）

○風とオケ屋

大分合同新聞12・10（夕）

昭和三十五年（六十八才）

2月◎カンナの頬かぶり

別府大学国文学研究室

□△「一茶発句集」「おらが

春」「世界名著大事典―」

平凡社

6月□△「七番日記」

『世界名著大事典3』平凡

社

7月○いのち

大分合同新聞7・7（夕）

8月△書評「俳諧人名詞典」「俳

句研究」8月号

(第十七卷第八号)

○竹芝の男「民話」8月号

(第三卷第八号、通二十三号)

9月△「父の終焉日記」

『世界名著大事典4』

平凡社

△湖月庵諸久尼全集序文 同

全集刊行会

10月○荻野清氏を悼む「科野」

10月号

(第十五卷第十号、通七十六

号)

○高野の秋

大分合同新聞10・9(夕)

昭和三十六年(六十九才)

1月○寒紅

大分合同新聞1・26(夕)

2月○かどでのことば

別大國語国文 創刊号

3月△奥の細道のトリック「学苑」

3月号

(通二百五十三号)

4月○春愁

大分合同新聞4・16(夕)

○白萩の雨『濱』4月号

(第十六卷第四号、通一八四

号)

6月○とらが雨

大分合同新聞6・6(夕)

□◇(短歌九首)歌集『海原』

8月○一石路と農夫と「俳句」

8月号

(第九卷第八号)

○アリの国

大分合同新聞8・25(夕)

○ユートピア

大分合同新聞9・7(夕)

9月○初 秋

大分合同新聞9・14(夕)

10月○みち連れ

大分合同新聞10・19(夕)

11月○ツバの花

大分合同新聞11・16(夕)

12月○馬のよだれ

大分合同新聞12・19(夕)

昭和三十七年(七十才)

1月○白萩の雨 「科野」栗生純

夫追悼集

2月○はまなす

大分合同新聞2・10(夕)

3月◎○三猿記 別府大学同窓会

○茶鳴子

大分合同新聞3・17(夕)

4月○菜の花

大分合同新聞4・27(夕)

6月○つゆぐもり

大分合同新聞6・2(夕)

7月○小波さん

大分合同新聞7・31(夕)

9月○焼酎禍

大分合同新聞9・20(夕)

10月○山だより

大分合同新聞 10・17

昭和三十八年(七十二才)

1月○瀬戸物の鏡餅

大分合同新聞 1・1 (文)

2月○かんざし

大分合同新聞 2・10 (文)

4月 良寛としらみ

大分合同新聞 4・23 (文)

おらが春 高等学校 国語古

典(甲) 角川書店

9月○かまぼことわらざうり

大分合同新聞 9・2 (文)

11月○消雪パイプ

大分合同新聞 11・28 (文)

△小林一茶「国文学」11月号

(第八卷第十四号、通百号)

昭和三十九年(七十二才)

1月○かるた

大分合同新聞 1・6 (文)

2月○早春

大分合同新聞 2・17 (夕)

□◎ヘラコの記

別府大学同窓会

4月○さくら

大分合同新聞 4・3 (夕)

5月○シヨウチュウの夢

大分合同新聞 5・10 (夕)

○波間からだたよう望郷の念

朝日新聞 5・22 (周波欄)

○少年よ遭難するな

朝日新聞 5・27 (周波欄)

6月○「民芸のころろ」を知る

朝日新聞 6・6 (周波欄)

○戒厳令下

大分合同新聞 6・10 (夕)

◎△良 寛 小学館

○真実性をこわした略画

朝日新聞 6・11 (周波欄)

○前時代的用語の追放と

朝日新聞 6・15 (周波欄)

○テーマにとらわれすぎ

朝日新聞 6・27 (周波欄)

7月○ハブの島

大分合同新聞 7・25 (夕)

9月○夜の秋

大分合同新聞 9・3 (夕)

11月○時雨忌

大分合同新聞 11・9 (夕)

○良寛としらみ「別大国語国

文」第6号

昭和四十年(七十三才)

1月○正月らしくないことば

大分合同新聞 1・8 (文)

2月△「伊勢物語」にあらわれた

庶民性

別大国語国文学会報第20号

○赤穂義士と俳諧

大分合同新聞 2・10 (夕)

4月○青頭巾

大分合同新聞 4・24 (夕)

3月○菊舎尼 蘇門第2巻
(川島つゆ退任記念号)

大分合同新聞 4・6 (夕)

6月○冷笑家

5月○お天気師

大分合同新聞 6・15 (夕)

大分合同新聞 5・13 (夕)

7月○はてな

5月○卯の花
大分合同新聞 5・21 (夕)

8月○まぼろし

大分合同新聞 7・27 (夕)

8月○「田舎教師」の墓
大分合同新聞 8・2 (夕)

大分合同新聞 8・22 (夕)

8月○処女出版の思い出

―「一茶俳句新釈」―女性

9月○震災

9月○二箱の苺(蕪村と私)
「風雪」第5集

不遇の時代―

大分合同新聞 9・10 (夕)

10月○さきもりの歌

大分合同新聞 8・31 (文)

10月○たより

大分合同新聞 10・20 (夕)

9月○標準語への招待

大分合同新聞 10・21 (夕)

11月○夜会巻き

大分合同新聞 9・28 (夕)

11月△一茶の方言連句について
国文学研究第2号

大分合同新聞 11・29 (夕)

11月○ふすべる

12月○なべまつり

大分合同新聞 11・26 (夕)

大分合同新聞 12・1 (夕)

昭和四十三年(七十六才)

昭和四十一年(七十四才)

1月○年賀状
大分合同新聞 1・8 (夕)

2月○雪
大分合同新聞 2・23 (夕)

1月○気の遠くなる話

1月○はね、羽子板

4月○つばしぐれ・ういろう

2月○巻頭に『記念論集』

2月○ふきのながみ

5月○惨禍のひとこま

(川島つゆ教授退任記念号)

大分合同新聞 3・2 (夕)

大分合同新聞 4・12 (夕)

○遭難

4月○一合ます

7月○つゆ草

大分合同新聞 2・16 (夕)

大分合同新聞 2・2 (夕)

大分合同新聞 2・16 (夕)

○遭難

大分合同新聞 2・16 (夕)

8月○芝居見物

大分合同新聞 8・12 (夕)

○うんべのつる 「伝説と現代」

9月号

10月○クリめし・シイタケめし

大分合同新聞 10・29 (夕)

昭和四十四年(七十七才)

1月○豆腐屋の四季

大分合同新聞 1・11 (夕)

○入学試験

大分合同新聞 1・27 (夕)

3月○子供

大分合同新聞 3・27 (夕)

5月○芹沢さん

大分合同新聞 5・7 (夕)

6月○新緑の毒素

大分合同新聞 6・3 (夕)

9月○ネコつり

大分合同新聞 9・2 (夕)

11月△夏目成美について「国文学

研究」第5号

○荻野清著作集推薦のことば

「ヤアいらっしやい」「荻

野清著作集内容見本

赤尾照文堂

昭和四十五年(七十八才)

2月○野口曾与子

大分合同新聞 2・16 (夕)

3月△一茶の作品について

「古典俳文学大系月報」

4月○狐狸受難

大分合同新聞 4・16 (夕)

8月○紫カタバミ

大分合同新聞 8・6 (夕)

10月○りんどう

大分合同新聞 10・9 (夕)

11月○一茶と女たち

「国文学研究」第6号

昭和四十六年(七十九才)

1月○枯草の炎

大分合同新聞社 1・14 (夕)

3月○大宅さん

大分合同新聞社 3・24 (夕)

△私の一茶研究のはじめ

国語大分 第15号

5月○犬ふぐりの歌

大分合同新聞社 5・8 (夕)

6月○青い谷間

大分合同新聞社 6・28 (夕)

8月○茶ぞっぺえ

大分合同新聞社 8・24 (夕)

9月○貧しい支那皿

『安孫理兵衛思い出』

10月 ブイヤベエス

大分合同新聞 10・20

12月○八匹の小犬

大分合同新聞 12・15 (夕)

昭和四十七年(八十才)

2月○初 午

大分合同新聞 2・9 (夕)

3月○道づれ

大分合同新聞 3・22 (夕)